

1. 件名：「廃止措置計画に関する審査会合への対応について(大飯発電所1, 2号炉及び美浜発電所1, 2号炉)」

2. 日時：令和元年11月7日(木) 16時15分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ実用炉審査部門

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐、池田廃止措置専門官、立元保安規定二係長

技術基盤グループ

システム安全研究部門

山本上席技術研究調査官

核燃料廃棄物研究部門

片山上席技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部 廃止措置技術センター所長 他17名

5. 要旨

(1) 関西電力株式会社から、本日の審査会合(議題1：関西電力株式会社大飯発電所1号炉及び2号炉の廃止措置計画認可申請及び大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請について、議題2：関西電力株式会社美浜発電所1号炉及び2号炉の廃止措置計画変更認可申請について)において議論された事項の確認があった。原子力規制庁は、本日の審査会合における以下の議論を踏まえ、引き続き審査を行うこととした。

(審査会合における議論内容)

【大飯発電所1, 2号炉】

・使用済燃料の臨界評価の不確実性の評価に用いた計算で、中性子数発生数と世代数(バッチ数)の設定が妥当である理由を説明すること。

(2) 関西電力株式会社より、了解した旨回答があった。

6. 配布資料

提出資料：なし